

ROTARY CLUB OF FUJIMI

富士見ロータリークラブ週報

第2172例会 令和 2年 9月 4日(金) 【第2グループ勝瀬ガバナ補佐訪問】

2020-9-11発行



2020~2021年度

国際ロータリー会長ホールガー・クナーク 『ロータリーは機会の扉を開く』

> 第2570地区 ガバナー 相原茂吉 『友達をつくろう』

【会 長】星野信吾 【副会長】山城 盛

【幹 事】島田敏郎

【SAA】浅見隆広

【点 鐘】 会長 星野信吾会員

【斉唱】 国歌「君が代」

ロータリーソング「奉仕の理想」

【唱 和】 ターゲット 深谷雅良会員 四つのテスト CD

【ゲスト】 米山記念奨学生 劉 梦瑶さん

【ご来賓】 第2グループガバナー補佐

勝瀬義仁様(朝霞キャロットRC)

【会長の時間】 会長 星野信吾会員

皆さんこんにちは。本日はガ バナー補佐訪問です。勝瀬ガバ ナー補佐におかれましては、富 士見ロータリークラブへの来訪 有難うございます。



さて、皆さんも驚かれたと思いますが、8月28日5 時、安部総理大臣が辞任に向けた記者会見を開きま した。第二次安倍内閣は7年8ヵ月に及び、歴代総 理大臣最長の在任期間となりました。この間、国内 ではさくらや森友・加計問題、安部のマスク等々厳 しい国民の評価もありますが、コロナの感染が広が る前には、観光客の増加と共に経済も回復し、雇用 も大幅に創出され明るい兆しが見えていました。

また、外国との外交に関しては、G7での存在感の 発揮や、個性的なトランプアメリカ大統領との蜜月 等、数多くの国と日本との関係を構築し、国際政治 の中でこれまでにない日本の存在感を示した総理大 臣と私は思います。

憲法改正等取り組んでいる中、第一次に続き病気 での退任は断腸の思いで非常に残念でなりません。 早期の病気の回復を願うばかりです。

8月26日、第二グループ会長幹事会が開かれまし たので、何点か報告をさせていただきます。

まず、コロナ禍における各クラブの例会実態です が概ね月2回の例会が実施されています。しかし、 一クラブは未だに例会が開けていないそうです。

また、11月2、3日に予定されている川越での地区 大会ですが、開催日を一日、参加する対象者も制限 する方向で検討されているようです。

令和3年2月23日に行われる予定のIMは、会員の減 少が続く第二グループの活性化を図るため、パネル フォーラム形式での会議を検討しているところで す。詳しくは、この後行われる勝瀬ガバナー補佐の 卓話の中でお話が聞けると思います。

新年度がスタートして早2か月が過ぎました。感 染症の影響で例会に来たくても来られない方もおら れると思います。8月4日に開かれた戦略計画委員会 の中で、例会のオンライン化への取り組みが確認さ れました。本日の例会終了後、理事会で承認されれ ば、導入に向け取り組みたいと考えています。

勝瀬ガガバナー補佐、今日はよろしくお願いいた

事務所にて

関係書類の 閲覧を行う



【幹事報告】幹事 島田敏郎会員

- 1) 例会変更の件
- 1. 朝霞キャロットRC
 - 9月 7日(月) →

ガバナー公式訪問 18:00 朝霞市産業文化センター2F

9月28日(月) →通常例会 19:00 朝霞グリーンテニスクラブ

10月12日(月) →通常例会 19:00 朝霞グリーンテニスクラブ

10月26日(月) →通常例会 19:00 朝霞グリーンテニスクラブ

2. 当クラブ

9月11日(金) →ガバナー公式訪問

12:00懇談会 点鐘12:30 クラブ例会場

18日(金) →法定休会

25日(金) →定款による例会取止め

10月 2日(金) →卓話 点鐘12:30クラブ例会場 米山記念奨学生 劉 梦瑶さん

9日(金) →定款による例会取止め

16日(金) →書き損じはがき回収

点鐘12:30 クラブ例会場

23日(金) →法定休会

30日(金) →移動例会にて休会

- 2) 次の書類を回覧します。
- 1.9月レート1 * 円=106円
- 2.2021学年度クラブ支援

ロータリー米山記念奨学生募集要項

- 3. アフリカ地域の野生型ポリオ根絶認定について
- 4. 基本教育と識字率向上月間 リソースのご案内
- 5. 会員増強・新クラブ結成推進月間

リソースのご案内

- 6. ロータリー文庫運営委員会よりお願い
- 7. 比国育英会バギオ基金
- 8. 朝霞キャロットR C年度計画書
- 3) 記念切手「日本ロータリー100周年」

発行のお知らせ→回覧

- 4)8月号ガバナー月信各会員に配布
- 5)第6回目理事会議事録は各会員に

メール、又はFAXで連絡済み、掲示

6) 第7回目理事会、例会終了後開催

【贈呈】会長 星野信吾会員

○米山記念奨学生の劉さんに 学友証明書と9月分助成金贈呈

○挨拶 劉 梦瑶さん

日本に来て3年になります。 楽しいこと辛いことがありま

すが奨学生になれてよかったです。

助成金有難うございました。

○2019~20年度

戦略計画委員会委員長 坂本元彦会員に委感謝状



【委員長報告】

○親睦委員長→長根章浩会員 9月会員誕生祝 竹内英明会員 秋元伸一郎会員







島田敏郎会員 夫人誕生祝 坂本元彦会員 結婚祝 竹内英明会員 浅見隆広会員



【出席報告】委員長 西崎哲章会員

9月4日	正会員数	免除会員	出席率
会員数	40名	10名	
出席数	20名	5名	71, 4%

【ニコニコBOX】委員長 西崎哲章会員

本日出席会員より

第2グループガバナー補佐勝瀬義仁様、ようこそ。

桑原、平岡会員

米山記念奨学生、ようこそ。 奥田功次会員

残暑見舞い申し上げます。

秋元、齋藤茂、島田、竹内会員 誕生祝、有難うございます。 坂本、平岡会員(7月14日分) 家内の誕生祝、有難うございます。

浅見会員 結婚祝、有難う。

大坪、羽石会員 前回欠席につき。

本日合計¥48,000



【卓 話】

ガバナー補佐 勝瀬義仁のプロフィール

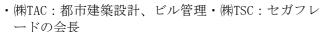
○生年月日: S21年9月14日73歳

生 家:徳島県

現住所 : 埼玉県朝霞市浜崎

○現職

·日本建築学会、日本都市計画学 会、日本不動産学会



○主な業績(作品・論文・著書・受賞)

- 建築作品:公共公益施設、民間施設を含め多種 多様な機能施設の設計
- ・論文:日本建築学会、日本都市計画学会、日本不 動産学会での学会論文40篇以上
- ・著書:東アジアの地域社会(1987.東洋大学出版)
- ・東南アジアの集落住居連載 (1981~1990. 新建築)
- ・ソフト化時代の建築企画(1994.海文堂)
- ・集合宅の企画 (1996. 建築学会編纂 1996)
- ・北朝霞物語「商業振興とまちづくり」 (2011. 埼 玉新聞社)
- ・その他:新聞論説、随筆、エッセイ多数ほか
- ・受賞歴:住宅入賞、川口都市デザイン賞、公庫エクセレンス賞、志木都市景観受賞

○主な奉仕業績と略歴

(学識委員、副委員長、委員長、会長、座長ほか)

- ・青少年育成奉仕:45年間、東洋大学建築学科に勤務し研究教育で青少年育成(この間、アメリカカリフォルニア大学バークレー校で1年間特任講師)
- ・国際交流:世界の集落住居調査で、東南アジアの各国で大学間研究提携し国際交流。
- ・職業奉仕:全国の都道府県、区市町村で都市計画 専門家(ハード系)学識として参加協力(事例:内 閣府、圏央道審議会、志木開発、新座、和光、朝 霞、富士見ほか)
- ・職業奉仕:埼玉西部地域30市町村で地方分権講座

コーディネーターを務める。

- ・社会奉仕:全国まちづくり推進(ソフト系)を、 産官学民パートナーシップ協力で支援(北朝霞地 区の「おやちゃい村」は、行政マスコミで高い評価 を受ける)
- ・その他(人材育成支援奉仕): まちづくりNP0創立支援、留学生支援と人材育成。

○ロータリー歴

- ・1988 (S53) 朝霞RC入会、子クラブ (朝霞キャロットRC) 創立の拡大補佐1991
- ・朝霞キャロットRCへ入会 (2001. 平成13年) 現在 に至る。ロータリー歴約30年。
- ・クラブ会長2回、 ・ベネフェクター、
- ·米山功労賞他多数 ·RLI資格取得
- ・地区青少年奉仕委員会 ライラ委員
 - (学生引率で10年間参加)
- 地区社会奉仕委員会 委員

■ガバナー補佐の役割(補佐研修で12~13項目存在 することを確認)

□私が掲げる主な3つの役割

- ・一つ目は、RI会長、ガバナー方針を各クラブに伝えると同時に、ガバナーにクラブ、地区実態を報告する (地区とクラブとの橋渡し役)
- ・二つ目は、地区開催の研修会への参加推奨を行うと 同時に、グループ内の情報・親交流を図っていく。 (ロータリーを楽しむ)
- ・三つ目はクラブやグループ内で抱える課題を共有し IM開催で解決策を考える。

○RIホルガークナーク会長方針と地区相原ガバナー のテーマ

・RI会長テーマ**Rotary Opens Opportunities**(ロータ リーは機会の扉を開く)

Rotaryは、仲間と奉仕精神の共有と行動で、この機会の扉を開くものであると捉え、RI会長は「太陽が出ている間に屋根を直さなければいけない」と述べている

・地区相原ガバナーの掲げたテーマは、Let's make fellows "仲間を作ろう"

本テーマには「私達は、Rotaryの奉仕の理念(志)を共有する仲間(fellows)を増やして活気を取り戻し、人生の新たな扉(機会)を開いて欲しい」との思いが込められている。特に第2570地区は、高齢化進行と会員減少に伴う少人数クラブが多く、ガバナー輩出もできない状況に陥っている。RIでは、地区会員数が1100人以下になると地区認定がされず、統合化される恐れがある。

・クラブ活性化の相原ガバナー方針

- ・活力を呼び戻す(会員増強)には、若い人や女性会員勧誘は当然、元気な高齢者を勧誘することも効果的ではないかと考えている。
- ・会員増強の一手段として、衛星クラブ設立も近道で はないかと考えている。
- ・将来像を考えるクラブ戦略委員会を立上げ、戦略方 針(プログラム、シナリオ)を作成し、クラブの短期 及び中長期の方向性を示すよう啓蒙していく事が大切 ・地区、並びにグループ内の会員親睦と友情を確立
- し、委員会を活性化する。 ・その上で、ガバナー輩出のしくみつくりを考えてい けないか。

○RI戦略計画委員会立上げの背景(委員長ステファニーA・アーチック)

変化する世界や地域社会の現実を見据え、厳しい問いかけ:「Rotaryの現状はどうか」、「Rotaryはどうあるべきか」、「Rotaryはどうありたいのか」を投げかけ徹底的に自己評価を行った。その上で2018年に戦略計画の土台となる4つの優先事項を定め、2019年より各クラブに戦略計画委員会の立上げ要請を行った。

* 4つの優先事項

- ①より大きなインパクトをもたらす
- ②参加者の基盤を広げる
- ③参加者の積極的関わりを促す
- ④適応力を高める

*第2750地区戦略計画委員長(立原雅夫パストガバナー委員長)

- ・地区会員減少の中で、各クラブが「現状分析を行い自分たちの抱える課題・問題点を洗い出し、どうすれば改善し組織強化が図れるか、また将来どうありたいか」その方向性を見定め検討していただきたいと考えている。
- ・それ故各クラブに戦略計画委員会の立上げを指導し Rotaryに参加する人が有意義で価値ある経験ができ大 勢の人の為になるよう組織強化を図っていきたい。
- ・クラブの活性化方策の戦略委員会をつくり、短期と 長期に渡ってクラブの在るべき姿像を考えていく事。 ・その具体的なシナリオとプログラムを公式訪問時に
- クラブ協議会でガバナーは聞きたいと考えている。

□第2グループ内の実態認識

○私のロータリー観

- ・ロータリーへの入会動機は、幼いころから建築という職業を通して社会貢献したいとの思いがあって、ロータリーの「奉仕の理想」と一致したからである。・ロータリー入会約32年(当初朝霞RC,朝霞キャロット創立10年後に入会)、大学、学会とは異なる職業人と出会い大きな影響を受け自己研鑽を重ねられてきた・ロータリー創立115年、日本ロータリー誕生100年間、継続出来てきた背景に、会員相互で「ロータリーが掲げる奉仕理念」の価値観を共有してきたからだと思う。
- ・しかし現在社会には、多種多様な奉仕団体が存在する中で、「**奉仕の御旗・仲間づくり**」を掲げているのみでは、ロータリーの存在魅力とインパクトが弱いと考える。
- ・そのため近年第2570地区で会員・新入会者数の減少が叫ばれ、その減少理由は様々考えられるが、時代環境が大きく変化する中で、ロータリーに対する入会者ニーズへの対応や、ロータリー魅力PRの不足などが大きく起因しているのではないかと思う。

○第2Gの実態と今後の在り方(グループ内の最大課題)

- ・第2Gの会員減少傾向は著しく、一昨年8クラブから7クラブと減り、更に会員数は3クラブが10名以下、2クラブが25名前後、そして2クラブが40~45名で何とか面目を保っているのが実態で、クラブのスモール化は顕著で行く末が案じられる。
- ・この実態から、果たして**1クラブのみでの活性化は 可能なのか、又はグループ全体の協力の必要性がある のか、** 早急に対応策を検討する必要があるのではと考える
- ・その対策の一案として奉仕のみでなく、老練で多様な職業教訓を持つロータリアンと次世代事業者(入会候補者)にとって関心があるコロナ禍での経済活動をテーマに、第2Gの(IM)で「仮称EX:事業継承と社会貢献」を取り上げ毎年継続してはと考える。
- ・その上で、ロータリー魅力を訴え会員増強に繋げられれば幸いであると思う。
- ・例えIM開催不可でも、第2Gの会長幹事会で考えた案 に大きな意義があるのでは。

コロナ禍でのロータリー活動の在り方

2020-2021年度、第2グループのガバナー補佐を務め させて頂くことになりました朝霞キャロットRCの勝瀬 です。しかし2~3月以降、新型コロナウイルスのパン デミック (世界流行) により、全ての分野において想 像もしなかった新たな課題に直面しています。当然な がらRI第2570地区においても3月に新年度の会長幹事 の研修 (PETS. 3/15) を、相原ガバナーのコロナ対策 に考慮した方法で開催されましたがそれ以降緊急事態 法が発令され、地区大会、地区協議会など全ての行事 が中止に追い込まれてしまいました。各クラブにおい ても例会開催もままならぬ状況が続き、ロータリアン の中にも次第にロータリー活動に対して意識が希薄に なってきている事をガバナーは大変危惧されています そして4/20,21にRIの理事会が開催され、世界中の ロータリー活動での各種委員会、研修会をはじめクラ ブ例会等は2020年12末までオンラインで行うよう要請 決定が下されました。一方3月以降、RI第2570地区の ガバナー補佐会議は全てWeb会議で行われるようにな ってきたのです。そして第2Gも緊急時の対応策を考え て6月に私をホストとして、会長会議をWeb上で行って きました。私自身もWeb会議は初めての経験でしたが 若い方々に教わりながら始めて見ますと、様々な良い 点も分かってきました。具体的には人の話を集中して 聞くようになり、スピーカー(話し手)が主役でク ローズアップされ会話を楽しんでいますが、何といっ てもコロナ禍出の危険回避と出かけなくてよいため、 時間省略に繋がる効果は非常に大きいと思います。 更にRIでは逆に新型コロナウイルスに対応し、オンラ イン例会を推奨しており(日本では反対者も多く未だ 少ないが)、他の国や地域のロータリークラブのゲス トスピーカーをオンラインで招くなど、多様な可能性 の提案がなされています。そして将来のロータリーの 在り方を考えるならば、今後の新入会員候補者はIT化 時代の申し子(SNSなどを駆使してオンライン化は日 常的行為) であることを考えると、オンライン化は今 後ロータリー活動の面から避けて通れないと思います そして11/3にウエスタ川越で計画されていますRI第 2570地区の地区大会は、地区役員とクラブ会長幹事に 人数を絞って行う方向ですが参加できない全てのロー タリアンに対し、同時に参加できるよう映像とネット 配信で生中継できるよう検討されているようです。

最後に、今回の新型コロナウイルスの感染を、マイナスイメージで捉えるのではなく、逆に副産物のレガシー(遺産)として捉え、今後のロータリー活動にオンライン化の多様性を積極的に生かし、新たな可能性と魅力向上に繋げていければと願っていま**す。**

【点 鐘】会長 星野信吾会員

例会日 毎週金曜日

時間 12:30~13:30

事務所 〒354-0022

富士見市山室2-10-10 島田ビル201号

電話 049-251-6596 FAX049-252-3848

例会場 島田ビル1F

Eメール fujimi-rc@nifty.com